

大田区での障がい者のこと どれだけ知っていますか？

初歩から学ぶ学習会

日ごろ意識することは少ないかもしれませんが、障がいを抱えながら大田区で生活する方はたくさんいます。一口に障がいといってもその障がいはさまざまです。いま障がいを感じなくても年齢を重ねる中で不自由になることもあります。

7月4日の都議会選挙で、大田区の立憲民主党候補者が聴覚障がいをお持ちの斎藤りえさんに決まったことにより、立憲パートナーズ大田の会として、斎藤さんが背負っている問題への理解を深めることは重要なことです。

またこれを機会に大田区での障がい者のおかれている状況を知り、どのような取り組みがされているのかを知るための学習会を企画しました。



【山田さんプロフィール】

山田悠平(やまだ ゆうへい) (精神障害当事者会ポルケ代表)
大田区出身・在住。1984年生まれ。精神障害のある当事者として、市民活動・障害者運動に従事している。地元では障害種別を越えたネットワーク組織である大田障害者連絡会代表なども務める。最近では、日本障害フォーラム障害者権利条約パラレルレポート作成特別委員会の委員として、障害者権利条約のパラレルレポート作成の起草とジュネーブでの障害者権利条約委員会とのブリーフィングの取り組みなどがある。

プログラム

お話

山田悠平さん(精神障害当事者会ポルケ代表)
大田区で障がい者の置かれている状況について
どのような取り組みが行われているのかなど

報告

平野春望さん(大田区議会議員)
立憲民主党の取り組み、区議会での取り組み

質疑

どんなことができますか？

- ◇開催日時：4月10日(土曜) 18:30～20:30
- ◇会場：大田区消費者生活センター2F
- ◇主催：立憲パートナーズ大田の会
- ◇Zoomで参加希望の方(参加資格：事前申し込みの方)
お申し込みの方に接続アドレスをお知らせします。
- 申込先：info@cpmota.com (4月5日までに)
- ◇参加費 500円(ウェブ参加無料)

○立憲パートナーズ大田の会

情報を知りたい方は→ <https://cpmota.com/>
連絡を取りたい方は→ info@cpmota.com